

Q26 健全な水循環系の構築について、県はどのように取り組んでいるのか？

A26 兵庫県では、水をめぐるさまざまな課題に対応するため、県をはじめ、市町、県民一人ひとり、さまざまな団体やグループ、事業者など社会を構成するあらゆる主体の指針として、平成16年5月に「ひょうご水ビジョン」を策定し、水の美しい循環を目指すこととしています。

《ひょうご水ビジョンの概要》

めざすべき姿

～水の美しい循環をめざす～

これまで、わたしたちは快適で便利な生活を送るために、水はぐくんできた自然環境を犠牲にし、水とのかかわりを希薄化させてきた側面がありました。

わたしたちの水利用を自然の営みのなかに調和させていくという認識のもと、人と水との関係について、めざすべき3つの姿を以下に描きます。

- ①すべての生物の生息環境を支える水が、多様な兵庫の県土を自然のリズムで循環しています。
- ②私たちの営みが水環境のなかに高い次元で調和するとともに、水の安定供給を妨げる突発的な事態にも、柔軟に対応できる知恵が蓄積されています。
- ③地域の特徴が生かされた多彩な水と人とのつながりが県土にちりばめられ、美しく輝いています。

基本目標

1 健全な水循環の回復・保全・創造


森林や田畑の水源かん養機能を高めるとともに、水をゆっくり流すなどの工夫を取り入れます。

2 人と自然との営みが共生・調和した水の利用の確立

県民一人ひとりが水を使うことの意味を知り、水を使う上で環境との共生・調和や損なってきた自然環境を回復し、再生するための取り組みを、家庭や地域のなかで展開します。

3 地域に根ざした水文化の継承・創造

流域の歴史や風土のつちかわれた水の文化を、誇りや愛着を持ってはぐくみ、次世代へ継承します。



基本姿勢

県民の参画と協働

水を使うすべての者が、水の循環の仕組みを知り、水を大切にすると同時に、水を取りまく環境の保全・回復・創造を図ります。

行政は、水に関する情報を積極的に収集、提供しながら、ネットワーク化や協働の場づくりを通じて県民の主体的な活動を支援します。

多様な風土と豊かな文化の反映

兵庫県の多様な気候・風土にはぐくまれた地域特性を生かす一方、河川水系ごとに形成されてきた特色ある流域文化を背景に、水とのかかわりを深めます。

実現への方向

基本目標を達成し、めざすべき姿を実現するために、わたしたちと水とのかかわり方を6つの方向に即して展開します。

① 節え・上手に使う

暮らしや経済活動に必要な水を、水が循環する過程の中で適正量を確保し、その水を有効に利用することに取り組みます。

② はぐくみ・ゆっくり流す

水源かん養機能を保つため、森林や田畑など県土を適切に管理、利用して、雨水の地下浸透や川の自然な流れの維持にも取り組みます。

③ きれいに保つ

水を利用し、自然の循環に戻す際、可能な限り汚さず、蓄積された汚れを取り除き、きれいに保つことに取り組みます。

④ 安全を高める

有害物質による水質汚染の未然防止や監視に取り組みながら、渇水時や地震、事故などの緊急時の水の確保、融通を円滑にするよう努めます。

⑤ 親しみ・楽しむ

県民一人ひとりが水や水辺に親しみ、楽しむことで、実体験を通して水への理解を深めていくことに取り組みます。

⑥ 学び・伝える

水と人のかかわり・文化を次世代に引き継ぐ一方で、つちかわれてきた知恵を最新の技術と融合させ、水を守り育てる実践的活動に取り組みます。

《参 考》

「健全な水循環系」とは？

「流域を中心とした一連の水の流れの過程において、人間社会の営みと環境の保全に果たす水の機能が、適切なバランスの下に、ともに確保されている状態」

(出典：健全な水循環系構築に関する関係省庁連絡会議)

